先端医療論　(Advanced Medical Theory)

担 当 教 員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
高崎 昭彦、山口 央輝	１年次 後 期	選択	2	30	講義	あり	巻末掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	先端医学論では、日進月歩の医療技術を学び、学部で修得した知識をさらに発展させ、新たな臨床検査分野の発展につながる最新医療技術を教授する。実際に使用されている抗がん剤やゲノム医療だけでなく、創薬や新しい医療機器、厚生労働省に定められた先進医療についても学修する。 課題に対するフィードバック方法／レポートに対して討論するほかコメントをつけて返却する。 実務家教員（高崎、山口）が講義を進めていく。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査学の高度な知識と研究手法を体得し、臨床検査の質向上に向けた研究を遂行することができる。」及び②「専門職業人として医療に対する幅広い知識と技能を駆使し、高度な臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	１．先端医学・先端医療について説明できる。 ２．ゲノム医療について説明できる。 ３．疾患バイオマーカーについての現状、問題点、発展性を理解し、説明できる。 ４．次世代医療に臨床検査技師がどのように関わっていくかを理解し、説明できる。 ５．在宅医療の現場で活躍するPOCT装置のさらなる発展性を理解し、説明できる。
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	第1回～第15回事前学習：事前にシラバスで計画されている単元について予習を行っておく（各30分） 第1回～第15回事後学習：講義内容で不明な点は、講義終了直後もしくはオフィスアワーを利用して質問するなどして明確にするよう努める／毎回の講義の復習を十分行うこと。（各30分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位15回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位15回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画			
	第 1 回	POCT装置の現状と問題点	高崎昭彦
	第 2 回	再生医療の現状と発展性	高崎昭彦
	第 3 回	生殖医療の現状と発展性	高崎昭彦
	第 4 回	AI（人工知能）と臨床検査、今後の動向	高崎昭彦
	第 5 回	新規疾患バイオマーカー検出に向けた最新技術	高崎昭彦
	第 6 回	最新プロテオミクス解析の実際と発展性（１）	高崎昭彦
	第 7 回	最新プロテオミクス解析の実際と発展性（２）	高崎昭彦
	第 8 回	質量分析技術の臨床検査領域への応用	高崎昭彦
	第 9 回	ゲノム医療について 総論	山口央輝
	第 10 回	ゲノム医療の実際 I	山口央輝
	第 11 回	ゲノム医療の実際 II	山口央輝
	第 12 回	疾患治療薬などの開発 総論	山口央輝
	第 13 回	疾患治療薬などの実際 I	山口央輝
	第 14 回	疾患治療薬などの実際 II	山口央輝
	第 15 回	先端医療について まとめ	山口央輝

評価方法 評価基準	レポート（60%）、プレゼンテーション（40%）で評価する。		
教科書	特に定めない。	参考書等	各担当教員から資料を配布
学生への メッセージ	先端医療論では再生医療とゲノム医療、治療薬及び在宅用の新規検査装置の開発に重点を置いた授業を行う。検査室では知りにくい知識を得られる機会です。しっかりと学修してください。		